

しゅうなん

議会だより

平成29年

8・15

No.59

大津島ににぎわいと笑顔

移動販売車

運行開始

TOPICS

- ・定例会の概要 ——— 2
- ・議案等の審議結果 — 5
- ・一般質問 ——— 6
- ・委員会レポート ——— 12
- ・議会人事 ——— 14

中山間地域などで、道の駅ソレーネ周南による移動販売が行われています。4月からは大津島地区でも待望の運行が開始され、この日は本浦や刈尾など5カ所を巡回し、多くの買い物客でにぎわいました。(平成29年6月28日)



概要

第2回定例会を5月29日から6月22日までの25日間開催しました。今定例会では、一般会計補正予算や市長及び副市長の給料の支給額の特例に関する条例制定などの市長提出議案21件を審議しました。

可決
(賛成多数)

一般会計補正予算（第1号） 防災情報収集伝達システム整備事業

実施設計の見直し等により進捗が遅れている防災行政無線及び無線LAN整備工事における、無線LAN回線に係る通信の安全性の確保及び回線の有線化等に要する経費の追加を計上するものです。

予算決算委員会での審査

問 歳出予算の補正計上額は約7560万円だが、全体の追加費用は幾らか。

答 平成28年度から30年度までの継続費を設定しているが、今回、平成29年度の年割額を約7560万円、平成30年度の年割額を約1833万円追加したことに加え、コミュニティFM放送システム整備委託料の入札執行残を活用するため、約9700万円が全体の追加費用となる。

問 工期の遅れはどのくらいか。

答 現場工事の着手が、5カ月から6カ月遅れている。工事請負業者には工期の延長期間を短くするよう依頼しているが、整備後もしっかりと調整期間を設けてもらうため、当初の計画であった平成30年10月31日より完成は延びると考える。

賛成討論

●市長は「責任は私が持つ」と明言した。これから説明責任が求められるが、本事業は長年の懸案事項であり、市民の安心安全のためには一刻も早くシステムを構築しなければならぬ。

●問題が長引き半年遅れているが、早い段階での対応も可能だったのでは。責任問題や今後かかる経費などを置いてでも必要なものであり賛成するが、しっかりと情報提供するように申し述べる。

予算決算委員会での審査結果
全会一致で可決

本会議での討論

賛成討論

●質疑の中で、見直しなどによるシステムの完成度が理解できなかったが、議会へは自発的かつ積極的に情報提供し、発注者としての責務を果たしてもらいたいと強く要望する。

●今回、市長の責任が明確にされ、これ以上の変更がないことと、間違いなく工事が進むことを確

可決
(全会一致)

一般会計補正予算（第2号）

認した。今後、行政としての説明責任をより一層明確にして取り組んでもらいたい。

●事業進捗に必要不可欠な予算であり、事業の進捗を図ることと事業遅延の責任問題は分けて考

反対討論

えなければならぬ。

見直すべき部分が残されているため、いま一度調査委員会や専門家による検証を行うべき。

予算決算委員会での審査

◆女性雇用マッチング事業

問 当初の予算額500万円から300万円に変更されたが、取り組み内容はどうなるのか。

答 当初は、未就業女性を対象としたセミナーや、セミナー参加者と企業との交流会等を開催し、現状や課題を把握する中で、雇用のマッチングを進めることとしていたが、国の交付金不採択を受け、女性の就労に関する実態やニーズ調査を行い、今後の取り組みの方

国・県等の補助内示、制度変更に伴うものなどの緊急を要するもので、各地区コミュニティ推進協議会や自主防災組織への補助金、新入学児童生徒に対する学用品等援助費、し尿投入施設整備工事に係る経費などを計上するものです。

向性を整理することとした。具体的には、未就業女性との対面によるヒアリング、幼稚園保護者等の市内未就業女性へのアンケート、企業へのヒアリングを実施したいと考えている。

問 この事業の重要度をどのように考えているか。

答 女性の雇用状況は、全国的に、子育て世代でもある20代、30代が落ち込むM字カーブ現象が起きており、周南市は全国平均に比べさらに低い状態にある。M字カーブを上げる取り組みは必要であるし、現在問題になってきている労働力不足の面からも、重要な事業と考えている。

予算決算委員会での審査結果

全会一致で可決



定例会の

可決
(全会一致)

周南市市長及び副市長の給料の支給額の特例に関する条例制定について

防災情報収集伝達システム防災行政無線及び無線LAN整備工事において遅れが生じ、完成期日を変更する事態となったことに対し、市長及び副市長の給料をそれぞれ1カ月、10分の1を減額するものです。

企画総務委員会での審査

問 工期が延びたことに対して申し訳ないと思うのであれば、きちんと表明すべきではないか。

答 今回の件に対して、発注者である市にも責任があり、市長として大変申し訳なく思っている。このことを具体的な形で示したいと考え、今回の減給をお願いするものである。

問 実施設計業者の責任ではあるが、市長は最高責任者としてけじめをつけるために、今回の減給処

〔委員会でも附帯決議を可決〕

このたび、防災情報収集伝達システムに関する社会的・道義的責任を果たすための市長及び副市長の給料の減額に関する条例が提案された。このことについて、

1. 今後、実施設計業者の責任に対する行政側の対応を明確に示すこと
2. 今回のような設計変更による工事遅延問題等の再発防止のため、行政組織としての改善策を明確に示すこと

以上、2点を求める。

分をしたということか。

答 市の最高責任者として、社会的・道義的責任、そして今後の信頼回復に向けての取り組みを示す姿勢として、大変申し訳なく思っていることを具体的な形で示すけじめとして行った。

委員会での討論

賛成討論

●担当職員に厳重注意を行ったということだが、組織上の改善点を明確にしていく必要があることを申し上げ賛成する。

●専門職員を育成しなければ、今後同様なことが起こらないとは言えない。行政として人材育成面を考慮してもらいたいという意見を付けて賛成する。

企画総務委員会での審査結果

全会一致で可決

可決
(全会一致)

工事請負契約の一部を変更するについて

(仮称)新徳山駅ビル及び付帯駐車場棟建設に係る建築主体工事・電気設備工事・空調設備工事について、完成期日の変更や施設機能の充実化等を図るため工事請負契約の一部を変更するものです。

環境建設委員会での審査

問 工期延長の要因は。

答 施工前に行く必要があるJRとの協議に不測の日数を要したものである。

問 開館後に、建物に不具合があった場合の対応は。また、指定管理者から施設機能に対する要望等が出た場合の市の対応は。

答 建築物の本体工事の不具合は、瑕疵担保責任により施工業者に、内装工事・立て付け家具は建築主体工事受注者に、内装・飾り付け・書架は指定管理者であるカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社へ責任をもって対応してもらうことになる。

今回は、指定管理者と協議を行い変更するものだが、開館後に申し出があっても、指定管理者で対応してもらおう。このことは、これから協定書を締結する中で、リス

ク分担等で明確にしていきたいと考えている。

環境建設委員会での審査結果

全会一致で可決

本会議での討論

指定管理者から要望があつて変更したということだが、後から要望が出れば対応しなければならぬという考え方に疑問がある。完成に近づいた中で完璧なものにしていくものであり、今回は認めるが、今後は指定管理者制度の基本的な考え方を十分に認識し取り組まれることを強く要望する。



工事中の新徳山駅ビル

定例会の概要



不採択
(賛成少数)

陳情第1号

「よりなる患者負担増で受診抑制が起きないように、現行の高額療養費制度及び高齢者の窓口負担の継続並びに介護保険制度の現状維持を求める意見書」採択に関する陳情

◆審査の要旨◆

3月定例会において執行部から現状についての説明を受けた上で継続審査としたもので、その後、3月30日に開催した委員会で審査方法を協議し、その結果、重要案件であるため引き続き検討することとしていたものです。

教育福祉委員会での審査

6月6日の委員会で採決することとなり、委員が立場を表明して討論を行いました。

委員会での討論

反対討論

陳情の願意には一定の理解をす
るが、制度改正は、将来にわたって社会保障制度を持続していくための重要な課題でもある。審査の過程で、医療分野と介護分野それぞれにおいて懸念されている点に明らかになったが、所得の低い人に対しては据え置きや激変緩和措置などの配慮がされ、社会保障審議会の分科会においては利用者・事業者団体が検討に加わり一定の意見反映がされていると理解でき、受診抑制が起きるか否かは不透明

採択
(全会一致)

陳情第2号

国民宿舎「湯野荘」に関する陳情

◆審査の要旨◆

陳情の審査に当たり、5月31日の委員会で陳情人を参考人として招致せず執行部に対し陳情に関する説明を求めることを決定し、6月6日の委員会で執行部から説明を受けた後審査したものです。

企画総務委員会での審査

陳情内容や地元の意向に沿って公募条件を整備するのか。

基本的には、地元の意見も入れ込んだ譲渡条件にしたい。また、陳情の、密着型施設とされたいといった部分については、プロポーザルの中で湯野地域に密着するような提案をしていただくことを考えている。

民間譲渡後、日帰り施設としての運営となる可能性はあるのか。

日帰りだけを残すことは今のところ考えておらず、今の事業の継続を譲渡条件に盛り込みたい。また、譲渡後の経営で宿泊がうまくいかない可能性もあるが、最低限、入浴機能は残してもらいたいと考えている。

建物が老朽化しているが、現状のまま公募にかけるのか。

現施設の解体等は考えておらず、現状のまま、適正な評価をして公募にかける。

委員会での討論

賛成討論

執行部から説明を受け、平成25年から地元との協議を重ね、ある程度方向性が出ていることが分かった。また、陳情の内容「1、少なくとも現行の観光施設としての形態は存続していただきたい」「2、地域と還流、交流、密着型施設とされたい」ということが、この流れに逆行するものではないということが確認できたため、賛成する。

委員会審査結果

全会一致で採択

委員会での討論

執行部においては、平成29年8月から、施設の民間譲渡に向けての公募を開始する予定とのことである。今後さらに地域住民の意向等に配慮し、取り組まれることを要望する。

市議会 Q & A

Q : 「請願」と「陳情」って何？

A : 市が行う業務について、意見や要望があるときは、だれでも請願や陳情を議会に提出できます。請願は提出の際に議員の紹介が必要ですが、陳情はその必要がありません。

提出された請願は、委員会審査を経て、本会議で採択か不採択かを決定し、結果を提出者に通知します。また、採択された請願は執行機関に送付されます。陳情も、市内の住民から出され、市が処理権限を持つものは、請願と同様に扱います。

■ 提出の仕方 ■

提出年月日、請願・陳情者の住所・氏名（法人の場合は名称と代表者名）、紹介議員名（陳情書は不要）、趣旨を記載し、押印したものを議長あてに提出。

請願・陳情の受付

いつでも受け付けますが、仮会期で示した一般質問の初日までに受理されたものは、その定例会中に審議されます。

〈記載例〉

提出年月日
周南市議会議長
〇〇〇宛て
請願者（住所）
（氏名）
紹介議員（氏名）
〇〇に関する請願
1 請願事項
2 理由

議案等の議決結果

|| 賛成多数で可決 ||

補正予算

- ・一般会計補正予算（第1号）

|| 全会一致で可決 ||

補正予算

- ・国民宿舎特別会計補正予算（第1号）、一般会計補正予算（第2号）、後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

条例改正など

《人事案件》

- ・公平委員会委員の選任、教育委員会委員の任命、固定資産評価員の選任、農業委員会委員の任命、監査委員の選任

《条例制定》

- ・市長及び副市長の給料の支給額の特例に関する条例

《条例の一部改正》

- ・職員退職手当支給条例、職員の育児休業等に関する条例、市税条例、周南緑地広域スポーツ拠点地区内における建築物の制限の緩和に関する条例、消防団員等公務災害補償条例、周南市議会委員会条例

《その他》

- ・市道の認定及び廃止、工事請負契約の一部を変更（仮称）新徳山駅ビル及び付帯駐車場棟建築主体工事・電気設備工事・空調設備工事、周南市防災情報収集伝達システム防災行政無線及び無線LAN整備工事

|| 陳情の議決結果 ||

全会一致で採択：国民宿舎「湯野荘」に関する陳情

賛成少数で不採択：「さらなる患者負担増で受診抑制が起きないように、現行の高額療養費制度及び高齢者の窓口負担の継続並びに介護保険制度の現状維持を求める意見書」採択に関する陳情

書類提出：出資法人の経営状況（ふるさと振興財団、文化振興財団、かの高原開発、医療公社、周南地域地場産業振興センター、徳山青果精算、徳山地区漁業振興基金、新南陽地区漁業振興基金）

報告：一般会計継続費繰越計算書、一般会計繰越明許費繰越計算書、介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書、水道事業会計継続費繰越計算書、下水道事業会計予算繰越計算書、モーターボート競走事業会計予算の弾力条項の適用、モーターボート競走事業会計継続費繰越計算書、損害賠償の額を定めることに関する専決処分

議会報告：例月現金出納検査の結果（3件）、定期監査結果（2件）、議員の表彰



一般質問



要旨

一般質問は、議案に関係なく市政全般について、市長などの執行機関に考え方や方針を問うものです。ここでは、質問項目を一つに絞って掲載します。

管理組合を自治会とみなすことはできないか



刷新クラブ
得重 謙一

問 市内のマンションの中には自治会を設立していないところもあり、自治会への加入率は、わずかではあるが年々減少傾向にある。地域コミュニティの基盤強化を目的に、自治会同様の活動をしている管理組合を自治会と同じ位置づけにすることはできないか。

答 自治会と管理組合は異なる性質の組織であり、管理組合を自治会と同様にみなすことは困難である。今後は、各地区の自治会連合会と連携を取りながら、新たな自治会の設立、加入に向けて取り組んでいく。

- 組織改編について
- 大津島の観光行政について

**空き家利活用がまちづくり
に不可欠なのは**



アクティブ
岩田 淳司

問 市として空き家の再利用を促すことは、立地適正化計画での居住誘導を推進するためにも重要である。また空家等対策計画では、危険でない空き家の活用についてもっと踏み込んだものを練り上げていくべきと考えるがどうか。

答 空き家の利活用を含めた地域の活性化に資する施策を、平成30年度末までに公表する立地適正化計画の検討に合わせ研究する。また空家等対策計画は、住生活基本計画との整合性・連携を図り、見直しの必要性について検討していく。

- その他の質問
- 徳山動物園のリニューアルについて

**小中学校と公民館の
トイレ洋式化の状況は**



アクティブ
山本 真吾

問 文部科学省の調査によれば、山口県の小中学校のトイレ洋式化率は27%となっており、全国平均の43%と比べて低い状況である。本市の状況と今後の整備予定は。また、公民館の状況はどうか。

答 本市の小中学校の洋式化率は32%である。学校や保護者から洋式トイレを充実して欲しいという要望があることから、今後は各トイレに1つは和式トイレを残しつつ、洋式トイレの整備を進めていく。公民館においても洋式トイレの積極的な整備に努めていく。

- その他の質問
- 道路施設情報伝達システム事業について
- 小中学校での理数教育について

次の最終不燃物処分場を確保すべきだ



アクテイフ 土屋 晴巳

問 ごみ処分場という性格から、後継地の確保・整備には相当の時間が必要である。本格的に取り進む時期にきたのではないか。また周南市不燃物処分場の使命は終わったのではないか。

答 現在のN7最終処分場は搬入量の減少により埋め立て完了予定が5年延長され平成42年度までとなった。今後の減少によって再延長も可能。新たな処分場の確保については県等と今後協議検討する。昭和49年7月より地元の同意を得て使用している不燃物処分場の今後については、見通しが確定次第地元の説明する。

その他の質問

● 消防活動における機動性の向上について

● ふるさと納税について

小中学校教員の過重労働対策を



刷新クラブ 田村 隆嘉

問 小中学校教員の勤務実態は。

答 平成28年度の1週間当たりの勤務時間は小学校で約56時間、中学校で約60時間である。1月当たりの時間外勤務が45時間を超えた教員は小学校で全教員417名の約68%、中学校で全教員267名の約71%である。

問 労働環境改善に対する今後の対応は。

答 業務改善を推進する担当を置き、学校全体で組織的に取り組む。また、中学校部活動の負担軽減のため、週1日以上以上の休養日や活動時間の短縮等の見直しを行う。

その他の質問

● 子ども・子育て支援について

市道や公共施設等の除草や樹木剪定の拡充を



刷新クラブ 小林 雄二

問 市道草刈り報償金制度の単価は他市と比較しても低すぎるため、増額を検討すべきである。また、学校の除草や樹木剪定などの環境整備に、保護者や教員の程度を超えた負担があるのではないか。

答 報償金は平成21年度からメートル単価12円と、県内他市との比較では下から2番目のため、検討したい。学校や幼稚園・保育所の除草・樹木剪定は教職員や保護者、地域の協力を得て実施し、高木の伐採は業者対応としている。除草・剪定の残滓は業者なども使用し教育委員会が責任をもちて処分にあたる。

その他の質問

● 生活支援体制整備事業について

● 地域創発事業及び共創プロジェクト事業について

婚活・子育て応援事業の取り組み強化を



公明党 相本 政利

問 人口減少問題の克服に資する取り組み「子育てするなら周南市」を目指した婚活・子育て応援事業の実施状況を問う。

答 婚活支援として平成27年度から婚活イベント開催事業補助金（10万円を上限）を5団体、3団体と2年連続で助成。今後はイベント周知や事業所間交流を進めると共に、県事業のやまぐち結婚応援センターも積極的に利用促進し婚活実績を積んでいく。子育て支援活動補助金（5万円を上限）は、直近の2年間で6団体、8団体に助成し今後も継続拡大し、県事業のやまぐち子育て応援パスポートの取り組みも進めていく。

その他の質問

● 市道整備の取り組みについて

保育所の利用調整において改善点はないか



静林会
佐々木照彦

問 今年度から全ての保育所の利用調整を市で行うこととなった。家から近い保育所に入れない、兄弟で同じ保育所に通えないことが今後も起こり得るが、どのように対応するのか。

答 今年度の取り組みに一定の評価をしなければならぬ。保育を必要とする事由を優先することから、今の段階では地域性は考慮できない。また、兄弟入所の基準を市では設けてこなかった。保育協会、保育施設と連携を密にし、保護者の意見を伺って、市の評価と併せて今後どうしていくのか研究していきたい。

その他の質問

●学校教育のさらなる充実に向けて

就学援助の要綱改正に伴い速やかな対応を



公明党
金子 優子

問 国において、就学援助に係る要綱が改正されたが、今後の本市の対応について問う。

答 改正内容は、新入学児童生徒学用品費等について2点あり、第1点は単価の改定で、小学生が2万4700円から4万6000円に、中学生が2万3350円から4万7400円に改定され、今議会の補正予算に計上している。第2点は、援助を必要とする時期に、必要とされる方に速やかに支給できることとなった。国の要綱改正の趣旨にのっとり、適正に運用をしていく。

その他の質問

●防災・減災の取り組みについて

福祉タクシー助成事業の制度拡充を



公明党
遠藤 伸一

問 福祉タクシー助成事業におけるチケットの複数枚使用等を含めた制度の拡充はできないか。

答 本市の福祉タクシー助成事業では、利用券を定額としておらず、また、交付対象者の居住地や同居家族の有無、自動車の所有状況など、障害等級以外の要件を考慮していない。交付要件や助成の範囲、この事業を外出機会の創出や社会参加の促進にどう活用いたどうかなど、課題が多数あることから、現行の制度を進めながら、必要な事業費の見込みと併せて検討したい。

その他の質問

●消費者行政について

小児弱視の早期発見のために



会派に属さない議員
福田史江子

問 3歳児健診における視力検査の質問項目の充実、健診会場への検査機器の導入、保育士や幼稚園教諭の研修に小児弱視に関する項目の追加を検討できないか。

答 かつての時代に比べ、スマホ育児などが指摘されており、乳幼児の目に対する検査は今まで以上に重要になっている。3歳児健診では、保護者の口頃の気づきを重視する質問項目を研究したい。検査機器の導入は、国や他市の動向も注視しながら研究したい。保育士及び幼稚園教諭の小児弱視研修は、今後、具体的な検討を進めていきたい。

その他の質問

●視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）について

総合支所の機能を強化するための検討を



日本共産党
魚永 智行

問 総合支所の機能やあり方について検討が必要ではないか。総合支所自らが企画立案する機能を強化することと総合支所の裁量で執行可能な予算を創設することを提案する。

答 各総合支所において地域の特性に合ったまちづくりを進めている。予算については、地域の実情に応じた措置を行い、本庁部局との密接な連携により、対応できる体制整備に努めている。総合支所については現状のサービスの水準を維持していく。改めての見直しは考えていない。

- マイナンバー制度について
- 非正規職員の処遇改善について
- 国民健康保険事業について

「のぞみ」停車のさらなる増加を



参輝会
青木 義雄

問 「のぞみ」はその距離と高い乗車率といい、我が国の交通の大動脈である。3月のダイヤ改正により徳山駅停車の「のぞみ」は1本増えて16本となり、逆に新山口駅は1本減って22本となった。これは両市の都市間競争の象徴である。さらなる増加に向けて、どのように取り組むのか。

答 来年2月には全国に例のない新幹線の駅に隣接する図書館がオープンする。フェリターミナルや新庁舎、動物園の整備など、都市機能の向上を図り、停車増加につなげていく。

- JRとの協議について
- 市内東部の大型ショッピングセンター進出について
- 徳山港開港100周年について

県への最優先要望に新栄谷トンネル建設を



静林会
藤井 康弘

問 須々万地区は、近年の大幅な人口増に伴う商業施設・金融機関等の集積により市北部地区の住民生活に不可欠の諸機能を提供しているが、最近人口減に転じ、今後の機能維持が危惧される。そこで空き家活用による移住促進策等で人口減に歯止めをかけようとしているが、地域の力だけでは限界があり、国道315号の新トンネル建設による市中心部とのアクセスの抜本的改善が絶対必要だ。市と住民が一体となって県に要望すべきと考えるがどうか。

答 建設実現に向け「共に」要望していきたい。

子育てするなら周南市の教育のあり方は



静林会
福田 健吾

問 学校・地域・家庭のそれぞれの役割は、これまでずっと言われ続けている。それぞれのあるべき姿も理解できるが、家庭においては踏み込む方法はまだない。そのことをどう考えているのか。また、学習支援についてもボランティアでなく、きちんと専門性を持った方へ依頼し公費投入をすべきではないか。

答 家庭に対して踏み込むことは大変難しい。保護者への情報提供や話し合いが重要である。学習支援は県事業として6名の学力向上等支援員を低学年に配置している。

- 旧市民館の跡地利用の進捗状況について

朽ちるインフラの
計画的な修繕を



新誠会
坂本 心次

問 朽ちるインフラの一つである市の体育館の雨漏り対応はどうなのか。また、あらゆる施設の多目的化等により、地域要望も叶えることができているのか。

答 キリンビバレッジ周南総合スポーツセンターは、緊急対応で屋根防水改修工事を行う。鹿野総合体育館は平成30年度に屋根の抜本的な改修をする。また、せせらぎパークと豊鹿里パークの一体的利用としては、貴重な観光資源として、現状の体験交流施設に加えて、より魅力的な宿泊施設やインバウンドに向けて検討していきたい。

新徳山駅前図書館の洋書
などは税金の無駄遣いでは



日本共産党
中村富美子

問 新徳山駅前図書館の1階から2階に続く高架書架は、幅17メートル高さ8・8メートルで、手の届かないところに延べ247メートルに、読むことのできない洋書を整備する。また、3万5000冊のダミー本を152万円で購入するというのが、税金の無駄遣いではないか。市民の理解が得られると思うか。

答 ダミー本や洋書の整備は、本に囲まれた空間を創出するために必要なものと考えられる。お茶を飲みながら、これまでの図書館とは違った雰囲気を感じ楽しんでいただきたい。

御幸通り・岐山通りの
樹木管理の対応は



嚙矢会
尾崎 隆則

問 秋以降、徳山駅から国道2号間の落ち葉の管理が大変だと思っているが、その対策は。

答 本市のシンボルロードとして、イチヨウ・クスノキ・ヒマラヤスギが植樹されているが、今年度はヒマラヤスギの樹形を整える作業を予定している。

問 樹木周辺の方は清掃に苦労されている。特に「ギンナ」の木の異臭対策は何とかできないか」と相談を受けたが、ハンモック式ネットでの対応はできないか。

答 予算の範囲内で剪定により対応していきたい。

広報配布報償金の
市内統一を



嚙矢会
友田 秀明

問 合併後15年になるが、旧2市2町で広報配布報償金が大きく異なる。合併後速やかに調整することだったが、未だに統一されていない。統一には財政基盤の弱い自治会のことを考慮しながら進めるとあるが、少ないところはそのままでもいいのか。4年前の議会で市長は統一を進めると答弁している。一世帯当たり徳山1320円、新南陽1165円、熊毛2080円、鹿野1700円であり差別ではないか。早急に統一すべきだ。

答 自治会連合会の意見を聞きながら慎重に進めたい。

- 公民館等の市長部局移管について
- 学校図書館の充実について

- 大津島移動販売車の状況について
- 徳山港ポートビルについて
- しゅうニャン市について

- 新南陽商工会議所要望の市の回答について
- 市民館の跡地利用について
- 和地区「虹色夢プラン」について

防災行政無線等
整備工事の遅れた責任は



嗜好会
古谷 幸男

問 ①防災情報収集伝達システム防災行政無線及び無線LAN整備工事の遅れの原因は何か。②工事請負業者との協議の状況と費用の負担はどうか。③行政の責任と市民への説明責任は果たせるのか。

答 ①当初の予定より約6カ月遅れで、進捗率は4月末で29・9%である。工期は延長したい。設計業者の調査不備で遅れた。②工事請負業者に工事の遅れによる費用を提示してもらい、その費用は実施設計業者に負担してもらおう。③発注者である市にも責任があり近々に明確にする。

その他の質問

●リサイクルプラザ「ペガサス」について

●土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域について

遅れる防災行政無線工事
と騒音問題を問う



会派に属さない議員
島津 幸男

問 9700万円の追加費用と117カ所の見直しが必要となり、設計業者と市の責任が問われる。設計思想に致命的欠陥があるのでは。現場に精通した無線の専門家を入れ直すことはしないか。新地のふれあいパークの傍らには、住宅・介護施設もあり、ジェット機並みの騒音被害が予想されるが、対策は。

答 専門家である大学教授に依頼したものである。新地ふれあいパークに設置する高機能スピーカーの音量は118デシベルで、設置場所の近隣へは音声が減衰するよう配慮した仕様としており、有事の際のみ使用する。この件では、市からも積極的に説明に入る。

市議会 Q & A

Q：一般質問って何？

A：議員が、議案に関係なく、市政全般について市長など執行機関の考えや方針を問いただすことをいいます。一般質問では、議員と市長が十分に実のある議論をするため、あらかじめ質問の内容を通告し、準備して臨みます。

周南市議会では定例会ごとに行い、質問時間を1議員当たり60分（答弁時間を含む）としています。なお、施政方針が示される3月定例会と市長選挙後の所信表明が示される定例会では、会派ごとに質問する「会派質問」を行っています。

今回の6月定例会では、4日間で21人の議員が質問をしました。

委員会レポート

常任委員会が調査を行ったものや特別委員会での協議内容を報告します！

シティプロモーション事業の進捗状況

◆ 執行部の説明 (要旨) ◆

平成28年度末に、シティプロモーションについての基本的な考え方をまとめた「周南市シティプロモーション基本方針」を策定した。

基本方針では、本市の人口推移、平成28年9月に実施した知名度調査の結果、総合戦略における位置づけ、戦略的にシティプロモーションを進める必要性やシティプロモーションの方向性、事業を進める上で設定するターゲット、愛称である「しゅうニャン市」の活用及びコンセプト、事業展開におけるメディアの活用や事業検証の必要性、成果指標などについて説明している。

また、6月15日発行の市広報に、シティプロモーション事業の周知を目的として作成した「しゅうニャン通信」を折り込む。なお、発行回数は、年2回程度を予定している。

企画総務委員会での調査

- 問** しゅうニャン市サポーターズ及びパートナーズの目標数は。
- 答** 現時点で、サポーターズは6,500人、パートナーズは100社を突破している。今年度中に、サポーターズは1万人、パートナーズは200社突破を目標としたい。また、フェイスブックに「いいね」など反応してくれる人を7,000人、ツイッターのフォロワー数を1,300人とすることを目標としている。

- 問** 子供や女性を対象としたイベントの開催について、現時点で何か予定はあるか。
- 答** 毎年秋に熊毛で開催される「周南子ども夢まつり」で、空き缶等を使用したモニュメントの製作や、ジュニア実行委員会による子供の発想を取り入れた企画を実施したいと考えており、関係機関と調整している。

大田原自然の家の今後の方向性

◆ 執行部の説明 (要旨) ◆

公共施設再配置計画のアクションプランである施設分類別計画として、今後の方向性を示す「周南市大田原自然の家施設分類別計画」を策定した。

その中で、これまでの総合教育会議や大田原自然の家運営協議会での協議・検討、利用者・ボランティアなどからの意見、議会からの決議等を踏まえ、今後の方向性を次のとおりとした。①集団宿泊訓練及び野外活動事業は継続。②利用者の安心安全を第一義に必要な施設を整備。③既存の公共施設との複合化、地区外への移転または新設を進める。④新施設の運用開始までは現在地で事業を継続。

教育福祉委員会での調査

- 問** 現状のまま事業を継続する考えはないか。
- 答** グラウンドを除く大部分が土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域に指定されていること、施設までの道路の幅員が狭く陸の孤島となること、大田原地区の高齢化が進んでおり将来的に支援を受けることが難しいことなどから、地区外への移転を選択した。
- 問** 現在地で対策を講じて事業を継続するという検討は行ったのか。
- 答** 敷地内や大田原地区内での建てかえも検討した。グラウンドへの建てかえを想定した見積もりをとり、解体費を含み約4億円かかることも確認したが、安心安全の観点から、地区外への移転を判断した。

平成28年度道の駅「ソレーネ周南」の運営状況

◆ 執行部の説明 (要旨) ◆

平成28年度の道の駅ソレーネ周南の運営状況は、売り上げが6億124万3,000円、来客数が74万4,000人で、市内産の売り上げ割合は全体の75%であった。指定管理業務は問題なく遂行されており、今後、施設のさらなる利用促進に向け、PRを強化し、イベント開催回数を増加させていく。

環境建設委員会での調査

- 問** 昨年度の経営改善計画の実績は。
- 答** 商品仕入れ高の削減600万円の目標に対し、2,360万7,000円の実績、減価償却費の削減40万円の目標に対して111万2,300円の実績等、合計で4,227万8,000円を削減した。
- 問** 経営改善に向けた具体的な事業計画は。
- 答** 周南ツーリズム協議会では、昨年減少した来客数や収益を改善するため、月に1回以上のイベント開催や、昨年地元企業のコラボ商品が好評であったように、新商品の開発を引き続き行いたいと考えている。
- 問** 現在駅長が不在だが、選任は市と周南ツーリズム協議会のどちらが主体性を持つのか。
- 答** 駅長はあくまで周南ツーリズム協議会が雇用するため、同協議会が審査すると考えるが、市として道の駅のコンセプトが守られるようアドバイスはしたい。
- 問** 現在空きテナントが1件あるが、新規出店者の誘致等はどこが行うのか。
- 答** 周南ツーリズム協議会が行う。
- 問** 周南ツーリズム協議会で多額の交通費が使われていたが、その用途は適正であったのか。
- 答** 調査中であり、最終的な結果が出たらまた報告したい。

徳山駅前賑わい交流施設等建設工事・南口駅前広場整備の進捗状況

徳山駅前賑わい交流施設及び徳山駅西駐車場建設工事の現地調査を行った後、報告を受けました。

◆ 執行部の説明(要旨) ◆

徳山駅前賑わい交流施設及び徳山駅西駐車場建設工事は、4月末現在、建築主体工事として内外装工事を行っており、進捗率は58%で、電気や空調等の各設備工事も順次進めている。完成期日は平成29年11月15日としている。

南口駅前広場は、平成28年度から東側の歩道の整備に着手しており、今年度は西側の歩道を整備する予定である。平成30年度は北口駅前広場の整備による混雑軽減のため一旦休止し、平成31年度からタクシー乗り場付近等の整備を進め、平成32年度に整備完了となる予定である。

中心市街地活性化対策特別委員会での調査

- 問 徳山駅前賑わい交流施設等の完成が11月になることで、2月の開館に影響はないか。
- 答 2月上旬に開館することに変更はない。
- 問 建物引き渡し時に検査漏れがないよう、検査の段取りはしっかりできているか。
- 答 現在は、段階確認として、工事請負者による自主検査の後、工事監理者・建築課・検査監による検査を工程ごとに順次行い、完成時に見えなくなる部分は、段階確認において随時検査を行っている。
- 問 南口駅前広場の整備完了年度と中心市街地活性化基本計画の計画期間が異なるが、補助金等の問題はないか。
- 答 駅前広場の整備は社会資本総合整備計画に基づいた交付金により事業を進めているため、問題はない。



新南陽地区における公共施設の現地調査

5月11日の委員会で、新南陽地区の公共施設について執行部から説明を受け、5月17・18日に、現地調査を行いました。

公共施設再配置及び新庁舎建設に関する特別委員会での調査

◆ 現地調査の主な所感 ◆

- ・新南陽地区は、多くの公共施設に恵まれている反面、多数の類似施設や著しく老朽化した施設があり、今後の再編が大きな課題である。
- ・和田支所及び公民館の裏は山林で、急傾斜地でもあることから、同じ場所への建てかえは、今後の夢プランの展開もあるが、疑問に思う。再編に当たっては、地元との協議が大変重要となる。
- ・新南陽斎場は、ペットを火葬できる特徴的な斎場であり、きちんと整備をする必要がある。
- ・永源山公園内に郷土美術資料館があるが、建物の構造が特殊で、維持管理が難しいことから、美術博物館への統合を検討してはどうか。



- ・市内には新南陽民俗資料展示室と類似した施設が複数あるため、一つにまとめて合理的に展示すべきである。
- ・福川シニア交流会館は、すぐ近くに類似した機能を持つ福川会館があることに加え、シニアには酷な坂道の上にあることから、早急に考える必要がある。
- ・学び・交流プラザの完成に伴い、各小学校区に設置されているコミュニティセンターの稼働率が減少していることから、行政機能の追加を含んだ機能の見直しが必要と考える。
- ・土砂災害警戒区域及び特別警戒区域のすみ分けについて、行政の考え方が不明確という印象を受けた。このことについて、行政は安全安心の視点からも議論を深めていくべきである。

りました。

★議長に小林雄二議員 ★副議長に友田秀明議員



監査委員 坂本心次



副議長 友田秀明



議長 小林雄二

議長あいさつ

魅力ある

自由闊達な議論のできる

市議会を目指して

周南市政15年という節目の年に、周南市議会の議長職というその任にあたり、緊張感と同時に、対外的にも、議会運営や議会における議論を差配するにおいても、公平公正さを肝に銘じ、ニュートラルな立場でしっかり対応することが何にもまして必要だと思っております。

山口県全体としても、人口は減少傾向にあり、単市だけの人口増加や活性化は困難ではありますが、合併時の基本目標である元気発信都市としての取り組みを、周辺市町とも連携しながらやっていくことが、今日、益々重要になってきています。周南市議会では現在29名の議員が間接民主主義としての周南市議会を構成しています。市議会の役割を真の意味で発揮

するためにも、議会において、いかに執行部と議論し、かつ議論を活性化させ、周南市の方向性を見いだしていくのか、一人一人の議員の役割は大切であり、それぞれの議員の努力による「開かれた議会」への取り組みは、今日においても着実に前進してきていると思えます。

新庁舎議事堂の完成は来年5月で、来年9月の定例議会は新庁舎議事堂で実施される予定となっております。

「開かれた議会」に向けた、魅力ある、自由闊達な議論のできる市議会を目指して前進していきたいと思えます。

誠心誠意頑張っていきますのでどうぞよろしくお願いたします。

議長 小林雄二

一部事務組合等議員

周南地区衛生施設組合議会議員

相本 政利

周陽環境整備組合議会議員

相本 政利 清水 芳将

玖西環境衛生組合議会議員

相本 政利 島津 幸男

光地区消防組合議会議員

山本 真吾

周南地区福祉施設組合議会議員

岩田 淳司 佐々木照彦

民生委員推薦会委員

中村富美子 福田史江子

都市計画審議会委員

井本 義朗 尾崎 隆則

田中 和末 山本 真吾

米沢 痴達

環境審議会委員

魚永 智行 佐々木照彦

長嶺 敏昭 福田 文治

福田史江子 山本 真吾

新しい議会体制が決ま

常任委員会

企画総務委員会

担当事務：政策推進部、行政管理部、財政部、地域振興部、会計管理者、競艇事業局、消防機関、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属さない事項

- ◎青木 義雄 ○金子 優子
- 魚永 智行 兼重 元
- 田村 隆嘉 田村 勇一
- 土屋 晴巳 福田 健吾
- 古谷 幸男 山本 真吾

教育福祉委員会

担当事務：福祉医療部、こども健康部及び教育委員会の所管に属する事項

- ◎藤井 康弘 ○遠藤 伸一
- 井本 義朗 岩田 淳司
- 小林 雄二 佐々木照彦
- 得重 謙二 友田 秀明
- 中村富美子 福田吏江子

環境建設委員会

担当事務：環境生活部、経済産業部、建設部、都市整備部、中心市街地整備部、上下水道局及び農業委員会の所管に属する事項

- ◎尾崎 隆則 ○相本 政利
- 坂本 心次 島津 幸男
- 清水 芳将 田中 和末
- 長嶺 敏昭 福田 文治
- 米沢 痴達

予算決算委員会

担当事務：予算及び決算に関する事項

- ◎田村 隆嘉 ○佐々木照彦
- 青木 義雄 井本 義朗
- 魚永 智行 金子 優子
- 兼重 元 田中 和末
- 田村 勇一 福田 健吾
- 古谷 幸男 山本 真吾

議会だより編集委員会

担当事務：議会だよりの編集に関する事項

- ◎得重 謙二 ○山本 真吾
- 遠藤 伸一 尾崎 隆則
- 佐々木照彦 中村富美子
- 福田吏江子

議会運営委員会

円滑な議事運営のため、協議し、意見調整を図る場として設置しています。

担当事務：議会の運営に関する事項、議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項、議長の諮問に関する事項

- ◎福田 健吾 ○得重 謙二
- 青木 義雄 金子 優子
- 兼重 元 清水 芳将
- 田村 隆嘉 田村 勇一
- 土屋 晴巳 古谷 幸男

特別委員会

中心市街地活性化対策特別委員会

付議事件：中心市街地活性化に関する付議事件

- ◎福田 文治 ○井本 義朗
- 青木 義雄 遠藤 伸一
- 佐々木照彦 清水 芳将
- 田中 和末 田村 隆嘉
- 田村 勇一 中村富美子
- 福田吏江子 古谷 幸男

公共施設再配置及び新庁舎建設に関する特別委員会

付議事件：公共施設再配置及び新庁舎建設に関する付議事件

- ◎古谷 幸男 ○土屋 晴巳
 - 岩田 淳司 魚永 智行
 - 金子 優子 兼重 元
 - 田中 和末 得重 謙二
 - 長嶺 敏昭 福田 健吾
 - 藤井 康弘 米沢 痴達
- (◎委員長、○副委員長)

会派構成

六合会(6人)

- ◎福田 健吾
- 青木 義雄
- 佐々木照彦
- 長嶺 敏昭
- 福田 文治
- 藤井 康弘

アクティブ(5人)

- ◎清水 芳将
- 岩田 淳司
- 井本 義朗
- 土屋 晴巳
- 山本 真吾

新誠会(5人)

- ◎田村 勇一
- 米沢 痴達
- 兼重 元
- 坂本 心次
- 福田吏江子

刷新クラブ(4人)

- ◎田中 和末
- 田村 隆嘉
- 小林 雄二
- 得重 謙二

嚆矢会(3人)

- ◎古谷 幸男
- 尾崎 隆則
- 友田 秀明

公明党(3人)

- ◎相本 政利
- 金子 優子
- 遠藤 伸一

日本共産党(2人)

- ◎魚永 智行
- 中村富美子

会派に属さない議員

- 島津 幸男

(◎代表 ○副代表)
会派人数、五十音順

市議会からのお知らせ

■ 議会を傍聴しませんか

どなたでも傍聴できます。

■ 9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
3	4	5 本会議	6	7 一般質問	8 一般質問	9
10	11 一般質問	12 一般質問	13 常任委員会	14 予算決算 委員会	15 予算決算 委員会	16
17	18 敬老の日	19	20	21	22 本会議	23 秋分の日
24	25	26	27	28	29	30

※本会議・委員会は、午前9時30分から開催します。

(土・日曜日は休会です)

※日程の変更は、市議会ホームページでお知らせします。

■ インターネット議会中継

本会議の生中継と録画放映で、録画放映は本会議の3～4日後から視聴できます。

周南市議会 インターネット中継 で **検索** を

※スマートフォンからも視聴できるようになりました。

■ ケーブルテレビ議会中継

本会議の様子を実況放送します。

放送の日程は、左記の9月定例会のとおりです。

一般質問の再放送は、翌日午後6時から、再々放送は、およそ10日後の午後3時からです。

委員会の様子を録画放映します。

2時間程度にまとめた番組を放送します。放映の日程は、市議会ホームページでお知らせします。

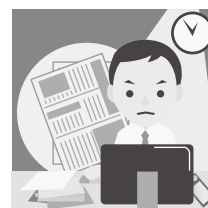
- ★CCS …………… デジタル 111Ch
- ★Kビジョン …………… デジタル 123Ch
- ★メディアリンク …… デジタル 122Ch

議会だより編集委員会委員紹介

私たち議会だより編集委員会が編集します。

今号から、私たちが「議会だより」を編集します。

委員の数は去年の8名から7名になりましたが、市民の皆さまに議会活動を理解していただけるよう「より分かりやすく」「より親しみやすく」を心がけ編集してまいります。一年間、よろしくお願いいたします。



佐々木照彦委員 遠藤伸一委員 福田史江子委員

尾崎隆則委員 山本真吾副委員長 得重謙二委員長 中村富美子委員